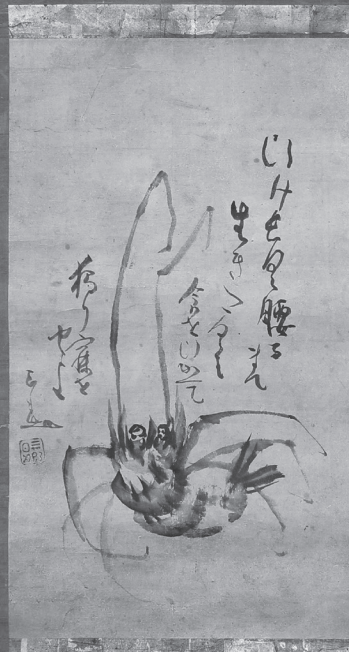


令和6年11月号

令和6年11月1日発行（毎月1日発行）

第25巻 第11号 通巻296号



仙厓「伊勢海老図」。画賛の和歌は「ひげ長く腰こしよがるまで生きたくば食をひかへて独り寝をせよ」。意味は「髭が長くなり腰が曲がるまで生きたいとしたら、たくさん食べ、多淫を禁じているわけだが、この絵に描かれている伊勢海老の存在は生命感にあふれて、ギラギラとしている印象である。ことさら飛び出た眼に生氣がこもっているようだ。脚も生きたくて、じたばたしているように見える。さらに、高く二本掲げられた触角（髭）が、生への強い意思を示していると、感じているある意味、老いた仙厓の自画像のようにも思えてくる。

この触角と和歌の最初の文字「ひ」とが、ともに先端が曲がっているところが、呼応しているのも、たのしい。（小澤 實）

澤 11月号 目次

澤通信句会のお知らせ……………4

小澤 實 蟬のむくろ 十五句……………8

高橋睦郎 季語練習帖 第一七九回……………10

潺潺集 小澤 實選……………12

見送り絵 児玉史湖 昴 森永一正

ざら紙 鶴見澄子 残暑調伏 及川 澄

偽造絵日記 中村 麻 着衣泳 森下秋露

的 生井敏夫 家鳴り 川上弘美

万の海月 中村敏彦 蠖糟 鳳 佳子

すべて順調 水谷り得子 陸上げ 結城あき

赤紙 大竹安子 被爆樹 周藤迪之相

億岐家 宮崎玲子 誕生日 長谷川照子

菓子を焼く 栗生

澤俳句鑑賞 294

津川絵理子……………18

森下秋露……………20

窓

俳書を読む

桑原三郎『だんだん』／染谷秀雄『息災』／正木ゆう子

『玉響』／董振華『静涵』／佐藤文香『こゝろは消えるのに』

木内縉太……………22

詩文学芸書を読む

ファーンゾン・A・ナーヴィ(桐谷知未訳)『コード・グ

レー 救命救急医がみた医療の限界と不確実性』

根岸哲也……………24

総合誌俳句鑑賞

「俳句」「俳句界」各九月号 今朝……………26

俳句結社誌を読む

「あかり」令和六年創刊号 梶等太郎……………28

定例句会の秀句 服部つぐみ……………30

通信句会の秀句 蔵田かをり……………32

仙厓のこと 二十 栗生……………34

潺湲集巻頭作家インタビュー 角田康輔……………36

澤集巻頭作家インタビュー 信太 蓬……………37

第九回澤特別作品賞応募者芳名……………38

俳句を豊かにするもの

「今日から「大吉」 矢嵩俊岳……………39

隠岐後鳥羽院俳句大賞表彰式特別ツアー参加記

青梅雨の隠岐に後鳥羽院と楸邨を偲ぶ

川又憲次郎……………40

同人代表句 喜心／川口正博……………42

同人一句鑑賞 朱雨／汕としこ……………43

澤衍……………44

澤四十句 小澤 實選……………46

選後独言 最後の最後を詠む 小澤 實……………48

澤集 小澤 實選……………50

江藤鳥歩／上林七葉／大堀 柔／信太 蓬／えんどうようこ／鈴木弥佐士／七生／中山あい／森山くるみ／木内縉太／梶等太郎／小田まり／松野篤子

新入会員／正誤表……………81 消息……………82

俳人協会編「俳句カレンダー」頒布のご案内……………83

第249回定例会11月ご案内／10月号発送報告……………84

澤俳句叢書一覽……………85

雑誌「澤」購読のご案内／購読料更新のお知らせ／

澤基金募集のお願い……………86

澤基金応募者芳名／投句のご案内……………87

澤句会・カルチャー一覽……………88

広告……………89 後記……………94

デザインⅡ山口信博＋玉井一平

写真Ⅱ大友洋祐 表紙監修Ⅱ栗生

澤
令和6年11月1日発行
澤| 俳句会
頒価 1,200円